

千葉県地震被害想定調査結果について

平成28年5月19日
防災危機管理部防災政策課
043(223)3697

県では、これまでも3回にわたり地震被害想定調査を実施し、地震防災対策に取り組んできたところですが、東日本大震災や国の地震被害想定調査などから得られた最新の科学的知見を踏まえ、平成26年度から新たに地震被害想定調査を進めてきました。

今回の調査は、県北西部直下での地震等を想定し、地震による揺れの強さ、建物全壊数、死傷者数などの被害の様相を明らかにし、地域防災計画の修正など、地震防災対策の基礎資料とするものです。

今後は、この調査結果をもとに、発生が危惧されている首都直下地震などに対する本県の防災・減災対策の強化に努めてまいります。

1 想定した地震

最新の科学的知見や過去の被害地震を踏まえ、次の地震による被害を想定しました。

想定地震	主な被害想定項目	マグニチュード	震源
千葉県北西部直下地震	揺れ・火災等被害	7.3	習志野市と千葉市の境界付近深さ約50km
房総半島東方沖日本海溝沿い地震	津波被害	8.2	いすみ市南東約75km深さ約25km

2 調査結果等

(1) 千葉県北西部直下地震の揺れと主な被害

- ①最大想定震度：震度6強(千葉市、習志野市他26市町)
- ②液状化危険度：東京湾岸の埋立地を中心に液状化の可能性大
- ③全壊・焼失建物数：約81,200棟
- ④死者数：約2,100人
- ⑤帰宅困難者数：約147万人(県内に：約73万人、県外に：約74万人)
- ⑥避難者数：約80.6万人(最大)

(2) 房総半島東方沖日本海溝沿い地震による津波の高さとおもな被害

- ①最大津波高：8.8m(銚子市)
- ②建物被害：全壊棟数約2,900棟、半壊棟数約6,700棟
- ③人的被害：死者数 約5,600人(最大)

3 今後の対応

- (1) 調査結果を基に県の地震防災戦略や地域防災計画の修正に着手し、防災対策を強化します。
- (2) 被害想定調査結果をまとめた「ちば地震被害想定ホームページ」を改訂するとともに、想定結果と地域の災害リスクや事前の備えなどを盛り込んだパンフレットを作成し、県民の自助力を促進します。
- (3) 市町村に被害想定調査の詳細データを提供し、市町村地域防災計画の修正や地震ハザードマップの作成を促進するなど、地域防災力の向上を図ります。

表 千葉県北西部直下地震の被害一覧

建物被害	全壊・焼失棟数	約81,200棟
	半壊棟数	約150,700棟
人的被害	死者数	約2,100人
	(うち火災による)	約1,400人
	負傷者数	約25,100人
	(うち重傷者数)	約4,100人
	避難者数	約806,600人
	帰宅困難者数(最大)	約1,477,000人
ライフライン被害	電力被害(供給停止率)	約49%
	上水道被害(機能支障人口)	約2,612,200人
	下水道被害(影響人口)	約184,600人
	都市ガス(停止戸数)	約479,000戸
	LPガス(機能障害世帯数)	約82,100世帯
	エレベータ停止台数	約2,500台
	携帯電話(停波基地局)	約46%
	災害廃棄物	約7,789,300m ³
経済被害額	全体(直接被害)	約8.14兆円
	直接建物被害	約4.72兆円